創建100年の文化財を未来へつなぐ。

国登録文化財 いけだピアまるセンター保全修繕プロジェクト

～ふるさと納税で、文化を守る一歩を～

いけだピアまるセンターって？

1925 年（大正 14 年）、関東大震災の 2 年後に、池田実業銀行本店として建てられた、本市最古の鉄筋コンクリート建造物で、設計者は小笠原鈅（小笠原祥光）。その後、1962 年（昭和 37 年）、建物を池田市が取得し、図書館として開館しました。2000 年（平成 12 年）以降は起業家や創業間もないベンチャー企業を支援するための、インキュベートルームとして活用しています。

また、2004 年（平成 16 年）には、同施設が国の登録有形文化財基準「造形の規範となっているもの」に該当する貴重な建物として、国の登録有形文化財（建造物）に登録されました。

池田実業銀行本店

図書館

しかし、今…

現在施設外壁の劣化が激しく、保全点検の結果速やかな改修工事が必要と判断されました。文化財を長く守り続けていくためにも本市では改修工事が必要と判断。「今こそ未来への投資」と考え、この度工事を実施することとなりました。

未来へつなぐ文化のバトン。あなたの想いをカタチに。

ご支援いただいた寄付金は、いけだピアまるセンター外壁の改修工事に充てさせていただきます。老朽化によるひび割れや塗装の剥がれ、安全性と意匠性を両立した修繕を行う予定です。

今回の改修により、施設の安全性はもちろん、建築当時の趣を大切にしながら外観を美しく保つことで、歴史的価値を守り続けることができます。みなさまの暖かいご寄付を、地域の資産であるこの建物の保全と、未来の活用のために、責任を持って活かしてまいります。

プロジェクト概要

◆プロジェクト名：国登録文化財「いけだピアまるセンター」を未来へつなぐプロジェクト

◆目標金額：2,000 万円

◆募集期間：7月31日（木）まで

池田市 市民活動部 商工振興課
☎ 072-754-6242 ✉ shoro@city.ikeda.osaka.jp

いけだピアまるセンターギャラリー

池田実業銀行新築時の内観

現在の１階ホール

池田実業銀行工事概要

奥には暖炉があります

池田実業銀行の外観

図書館前で行列をつくる人たち

ピアまるをみらいへ 担当者の声

商工振興課　中村 優太 主事

国登録文化財「いけだピアまるセンター」を未来へつなぐプロジェクト

◆目標金額：2,000 万円

◆募集期間：7月31日（木）まで

かつてこの建物は、銀行として地域の経済を支える重要な役割を果たし、多くの方々に利用されてきました。その後、図書館として生まれ変わり、市民のみなさんが学び、知識を深め、文化を育む場として親しまれてきました。そして現在、時代の変化に合わせてインキュベーション施設として活用され、企業育成室やコワーキングスペース等、市内創業者の新たな挑戦を支援し、未来を切りひらこうとする方々を支える拠点となっています。

本市ではこれからも、利用される方々とともに、新しい価値を創造し、この建物が未来を担う世代にも愛され続ける存在となるように努めていきますので、みなさまご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。